

➤ 和牛施策の紹介 ～ 今年度の県の主要事業等のお知らせ ～

令和6年度、県の和牛生産等に関する重点推進事項を紹介いたします。積極的な情報収集と事業の有効活用により、経営発展を目指しましょう。

広島県重点推進事項

「生産性の高い持続可能な農林水産業の確立」を目指し、ひろしまブランドに貢献する広島和牛のブランド化の推進と生産性を高めた持続性の高い企業経営体の確保・育成に取り組みます。

持続可能な広島和牛生産体制の構築

○ 本県の独自性を活かした付加価値向上の取組による広島和牛ブランドの強化

- ・「比婆牛」がひろしまブランドに貢献する食の代表の一つとなるよう、これまでに策定したブランド戦略に基づき、取扱希望店舗への流通課題解決策の検討、美味しさの成分を高める飼養管理方法の研究を進め、比婆牛の食べる場づくりの拡大、美味しさの特徴づくり等を通じ、新たな価値要素の探求を実施します。
- ・ブランドイメージを醸成して需要を創出するため、メディアを通じた県内外での情報発信を実施します。



○ 経営力向上による持続性の高い企業経営体の育成

- ・事業承継・人材育成などの共通課題解決に向けた研修会、視察等を通じて課題解決を支援します。
- ・畜産GAP・HACCPなどの考え方による生産工程管理の普及定着に向け、研修会等を通じ、先進経営体の事例を共有する等、経営力強化の推進に取り組みます。

○ 生産基盤強化による広島和牛生産体制の構築

- ・酪肉近代化計画や畜産クラスター計画等に基づく事業等を活用した生産基盤の強化・拡大を図ります。
- ・県有種雄牛精液の人工授精及び産子の保留に対する支援を通じ、広島血統子牛の供給支援を図ります。
- ・供給協定の取組の強化と酪農経営体への高受胎率卵の普及定着を進め、受精卵移植の受胎率向上の取組を推進します。
- ・経営継承を希望する経営体の情報把握及び第三者への経営継承の仕組みを構築し、既存の経営資源の有効活による維持拡大を図ります。
- ・広島血統和牛の増頭と認知度向上に取り組みます。

➤ 比婆牛ディナー会が開催されました ～歴史や伝統のある広島和牛の魅力を探求～

令和6年3月1日、広島市内の飲食店において、広島県内の会社経営者のほか、グルメ本著者の佐伯貴子さん、フードコーディネーターの平山友美さんを招いたディナー会が開催されました。

この会は、比婆牛と県産食材などの料理を愉しみながら、その魅力を理解していただくことを目的としたものであり、比婆牛を使用したメニューの実食だけでなく、県及びゲスト2名による比婆牛ミニ講義も行われました。

講義の中で地元企業の社長など参加者の方々は、MUFA 含量の異なる脂を入れた2本の小瓶を手に取り、比婆牛の特徴のひとつである脂の溶けやすさを体感することで、くちどけの良さを視覚でも実感されました。

アンケートでは、「比婆牛を広島の誇りとしてPRしたい」「さまざまな調理法で楽しかった」「脂がきつなく美味しかった」という声が聞かれました。

県は、今後も比婆牛をはじめ広島和牛の魅力を広く伝える機会を作り、広島県の食の魅力を高める取り組みを進めて行くこととしています。



「ロースのグリエ ジュ・ド・ブッフ 吉和ワサビのソース」ふきのとうのほろ苦さとワサビソースで初春のさわやかさを体感



「リブロース～しゃぶしゃぶに見立てて～」白ネギや春菊などの相性が良いです



参加した地元企業の経営者などのみなさん。接待、懇親会などでの二次利用を期待しています



県の和牛施策を説明する小川畜産課長

➤ 畜産技術研修会が開催されました ～広島和牛の改良と活用について～



令和6年3月6日、三次グランドホテル（三次市十日市南）において、和牛、酪農経営者や畜産関係者を対象とした、（一社）広島県畜産協会主催の研修会が100名を超える多くの参加者の中で実施されました。

県畜産課及び畜産技術センターの職員による、広島和牛の改良と活用についての講演がなされたほか、畜産課、畜産協会及び県酪農業協同組合から、国及び県の緊急支援事業についての情報提供がありました。

講演では、広島和牛のブランド力向上・新たな価値づくりに向けた県の施策及び取組状況が報告されました。また、ビトラン-7 凍結卵をはじめとした受精卵移植の拡大に向けた取組内容が紹介され、参加した方からは、主に産子の市場性に関する意見や質問が寄せられました。

支援事業については、令和6年度の新規事業として、優良和子牛の生産推進に関する事業、優良繁殖雌牛更新加速に関する事業等が紹介されました。

ゲノム育種価を活用して選抜した待機種雄牛

R6年度 子牛市場上場予定 芳福照 (よしあきてる)	R6年度 調整交配予定 (花金百合: 4~7月, 花峰勝: 5~8月) 花金百合 (はなかねゆり)	花峰勝 (はなみねかつ)
芳乃照 ×安福久×北国7の8	花勝百合 ×原太郎×金安平	花勝百合 ×勝忠平×安福久

枝肉重量や脂肪交雑に加えてMUF Aにも着目した種雄牛造成に取り組んでいます

上写真：会場の様子
左写真：講演で利用されたスライド。広島の特徴を生かした牛肉づくりのための種雄牛造成の紹介

★ 広島県からのお知らせ① ★ ～令和6年4月1日から体外受精卵製造等の手数料が変わりました～

資材価格高騰等により、従来価格での提供が困難となったため、次のとおり手数料を改定しました。

手数料名	現行	改定後	手数料名	現行	改定後
受精卵凍結処理	20,000円	22,000円	体外受精卵製造	56,000円	60,000円

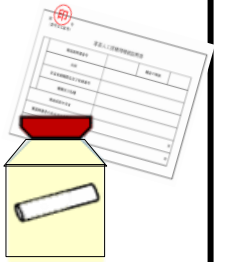
・手数料は税込表記。

上記手数料の変更について、皆様の御理解・御協力の程、何卒宜しくお願い致します。

★ 広島県からのお知らせ② ★ ～家畜改良増殖法に基づく立入検査について～

令和2年10月の法改正を受け、農林水産省（中国四国農政局）による家畜人工授精所への立入検査が義務化されました。広島県内では、令和4年12月中旬から本格的な立入検査を実施しています。家畜人工授精所の協力の下、令和6年3月時点で全体の43%にあたる34件の立入検査が完了しました。なお、これまでの立入検査にて、口頭注意等が多かった事項は次のとおりです。

- ① 使用済み精液（受精卵）証明書裏面の記入：不受胎時の情報（注入や移植日、注入や移植雌牛）が記入されていない等
 - ② 譲渡等記録簿等の記入：精液採取年月日や精液証明書番号が記入されていない等
 - ③ 授精証明書の記入：授精証明書の写しの保管がない、授精証明書番号がない（任意の通し番号を付す必要あり）等
- 引き続き、家畜改良増殖法遵守に御理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。



★ 広島県からのお知らせ③ ★ ～後代検定がスタートしています～

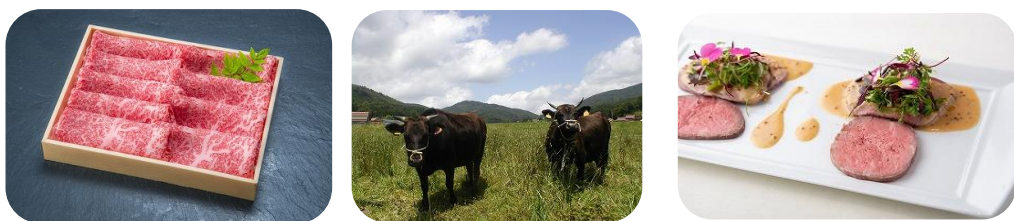
前号でお伝えした後代検定種雄牛について、4月1日から「花金百合」の交配が開始されています。（「花峰勝」の交配は5月1日から開始される予定です。）選抜後の交配の参考とするため、協力農場の皆様におかれましては、若い雌牛との交配をお願いします。



「家畜を飼養・管理している皆様へ」家畜伝染病予防法に基づく定期報告書(提出期限4月15日)を提出いただきありがとうございます。

☆詳しくは、広島県ホームページで「飼養衛生管理基準」で検索、または、最寄りの畜産事務所にお問い合わせください。

インスタグラム、フェイスブックで広島和牛の話題を世界中に発信中！フォロー・いいね！お願いします！！(^_^)！



右のQRコードからご覧いただけます。iPhoneの場合、標準カメラアプリをかざすだけで読み取り可能です！



Instagram



Facebook

広島和牛 NEWS は Web で閲覧できます！！⇒「広島和牛 NEWS」で検索！

右のQRコードから広島和牛 NEWS パックンバーをご覧ください。iPhoneの場合、標準カメラアプリをかざすだけで読み取り可能です。



今回は、令和6年5月29日発行予定！